

ふたばっ子とともに

R4. 10. 14

10月も、はや半月が過ぎようとしています。朝夕と日中の寒暖差やどこからか漂ってくる金木犀の香りなど、日に日に秋の深まりを感じられるようになってきました。そんな中、子供たちの明るく元気よく日々の学校生活を送る様子が見られます。また、「学びの秋」の充実に向け、新体力テストや自然教室、校外学習など、新型コロナウイルスの感染に対する心配が消えない中ではありますが、それでも学校内外での行事や活動を計画通り進められていることをうれしく思います。11月には、6年生の修学旅行があります。秋の深まりとともに、子供たちの学びもさらに深まりを持たせられるよう努めていきたいと思えます。

さて、先日(9/30)の朝会では、「心のスイッチ」について話しました。では、私が話した内容についてお伝えします。

『心のスイッチ』を意識して

—前略—

2学期になって1か月。みなさんは、とてもよく頑張っています。このひと月で見つけたみなさんの良いところを紹介します。

1年生は、ほとんどお休みする子がなくて、みんな元気よく、楽しそうに学校生活を送っています。2年生は、休み時間や昼休みに教室の前を通ると、頑張っていることや楽しかったことなど、いろいろなお話をしてくれます。3年生は、朝の教室では、とても静かに一日の準備を進めているみんなが、授業の中で、積極的に自分の意見を話そうとしている姿がたくさん見られます。4年生は、少しずつクラスに落ち着いた雰囲気を感じられるようになって、一生懸命授業に取り組んでいる姿が見られます。5年生は、とてもクラスが明るい雰囲気で、毎朝教室をのぞくと、気持ちのよい挨拶をしてくれます。6年生は、いろいろな場面でリーダーとして「学校をより良くしよう、より楽しくしよう」と頑張っている姿が見られます。わかばのみなさんは、とても仲良く活動していて、朝、どのクラスも「おはようございます」と素敵なあいさつを返してくれます。

わずか1か月の間に、みなさんの輝いている姿をたくさん見ることができて、とてもうれしいです。これからもみなさんの頑張っている様子や活躍する姿を、いろいろな場面で見られるのを楽しみにしています。

また、今日は、令和4年度の前期、ここまでのみなさんのがんばりを表した「あゆみ」が渡されます。うまくできたこと、もうすこしだったこと、しっかりと振り返って、月曜日からは始まる後期の学習や活動に生かしてください。

さて、みなさん。これは、何でしょう。そう、スイッチです。
どんなところにありますか。

学校では、教室や廊下の電気をつけるスイッチが多
いかな。

家に帰ると…少し形は違うけれど、テレビや洗濯
機、エアコンなどにも、スイッチはありますね。今日
は、みんなの中にあるスイッチ…「心のスイッチ」の
お話をします。



校長先生が、朝、みなさんの通学路を歩いて回っているのを知っていま
すね。そして、その後、それぞれの教室も回っています。みんなの朝の様
子を見てみると、この「心のスイッチ」（この場合は「挨拶のスイッチ」）
が、「ON」になっている人と「OFF」のままの人がいるのがわかります。

先生や旗振りの方たち、友達や上級生のお兄さん、お姉さんたちが、
「おはようございます！」と挨拶をしてくれたときに、元気よく「おはよ
うございます！」と返せる人は・・・？ そう「ON」の人です。

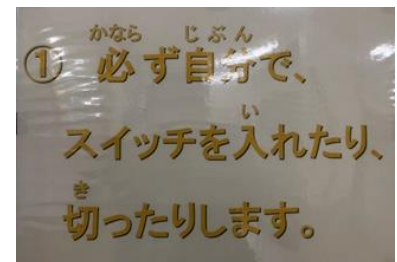
実は、この「心のスイッチ」、みんなの中にたった一つだけという訳で
はなく、いろいろな種類のスイッチがあるのです。

見るスイッチ、聴くスイッチ、話すスイッチ、勉強に集中するスイッ
チ、家の仕事をするスイッチ、テレビを見るスイッチ、家族とお話をする
スイッチ、ゲームをするスイッチ、ご飯を食べるスイッチなどなど、もち
ろん、朝起きるスイッチだってちゃんとあります。

そして、このスイッチ・・・「使用上の注意」が分かっていないと、う
まく使えません。注意は3つあるのですが、知っていますか。では、今か
ら教えますね。

1つめ。「必ず自分でスイッチを入れたり切っ
たりします」

他の人がこのスイッチを入れたり切ったりする
ことはできません。「ON」と「OFF」は、必
ず自分でするのです。



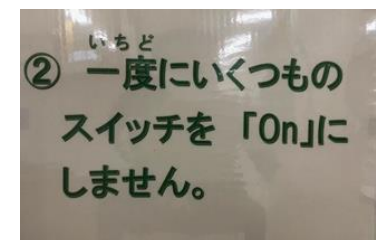
2つめ。「一度にいくつものスイッチをONにしません。」

家の電気は、玄関、リビング、寝室というよう
に、一つのスイッチで一度にいくつもの「ON」に
できるものもありますが、心のスイッチはそうは
いきません。

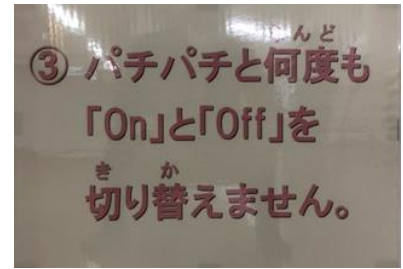
勉強のスイッチとゲームをするスイッチを一緒
に「ON」にしたらどうなるでしょう。家の仕事
をするスイッチとテレビを見るスイッチを一緒に

「ON」にできるでしょうか。聴くスイッチを入れる時に、お話しするス
イッチも「ON」にしてしまう人はいませんか。

1つのスイッチは、使い終わったら切る。そして、また次のスイッチを
入れるというのが大切です。



3つめ。「パチパチと何度もONとOFFを切り替えません」です。
部屋の電気を入れたり切ったりすると、電灯がチカチカ光ったり消えたりしますよね。それと同じように、短い時間で、勉強のスイッチ、テレビのスイッチ、勉強のスイッチ、ゲームのスイッチ、というように、あまりパチパチ切り替えていると、時々入りっぱなしになってしまったり、なかなか「ON」にならなくなったりすることがあります。あなたの壊れた「心のスイッチ」を直してくれるのは…さて、だれかいるのでしょうか。



という、3つの注意を守って、「心のスイッチ」が使いこなせたら、みんなはいろいろなことができるようになるはずです。

今日は、時間がないのでここでは読みませんが「心のスイッチ」についての詩を、担任の先生に渡しました。また、クラスで読んでもらってください。 ※「心にスイッチを」東井義雄 (クラスに配付しました)

さあ、また明日の朝から「挨拶のスイッチは入れてあるかな？」と思いながら、通学路や教室でみんなに声を掛けたり、「今はどんなスイッチが入っているのかな」と考えながら、みんなが勉強や活動をしている様子を見たりしたいと思います。

2学期も、みなさんの輝く姿が、様々な場面でたくさん見られるのを楽しみにしています。

「よし、やろう。」と、すぐに気持ちを切り替えて動き出せると良いのですが、子供でも、大人でも、自分自身に強く意識をさせないと、動き出せない事や場面は、必ずあると思います。また、「言わなければ」「やらなければ」「行かなければ」などと頭では分かっているけど、なかなかきっかけがつかめなくて…ということも、よくあるのではないのでしょうか。

そんな時には、「心にスイッチがある」と考え、それを「ON」にすることを思い描くだけで、意外と一歩踏み出す勇気を持てるかもしれないと考えたのが、この「心のスイッチ」を子供たちに紹介するきっかけになりました。

10/13(木)に行った参観会の折にご覧いただけた方もいるのではないかと思います。この朝会での話の後、昇降口に「さわれる『心のスイッチ』」として設置してみました。



子供たちは、登下校の時や休み時間などに立ち止まって、スイッチを「ON」にしたり、「OFF」にしたりしています。きっと、それぞれにスタートしたい何かや、ひと区切りしたい何かを心に抱きながら、このスイッチに触れているのだと思います。

この「さわれる『心のスイッチ』」を通して、自分の中で動き出すきっかけを生み出せる子になっていってほしいことを願っています。

